

# 権利の熱気球

## ～権利のランキング～

中学校2年生

### I アクティビティについて

#### ねらい

身近にある様々な権利の順位付け（ランキング）をする活動を通し、人間が生きる上で欠かせない諸権利である人権の大切さを考えるとともに、人権の根拠となる最も重要な価値である人間の尊厳・価値についての理解を深め、それを尊重しようとする態度を育てる。

#### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎人間の尊厳・価値の尊重
- コミュニケーション能力
- 参加・参画

#### 設定の理由

義務教育を終了するまでに、人権の本質やその基礎をなす人間の尊厳や価値の重要性、自他の人権を尊重することの大切さなどについて、すべての生徒がよく理解し、自他を人間として尊重しようとする態度を身に付けることが求められる。

そこで、身近にある様々な権利の順位付け（ランキング）をする体験活動を通して、様々な権利があること、そして人権という人間が生きる上で不可欠で重要な諸権利があることに気づかせる。そのことを通して、人権の根拠となっている人間の尊厳や価値を感じ取り、理解し、尊重する能力の基礎を築きたい。

#### アクティビティの概要（1時間扱い）

活動1 体験活動「権利の熱気球 ～人権ランキング～」の実施  
 ・各自が権利の序列づけの作業をとおして、権利についての認識を深め、人権感覚を高める。

活動2 話し合い（比較・検討）  
 ・自分の考えを発表したり、グループの考えをまとめたりする。  
 ・話し合いを通して、感じたことや発見できたことについてまとめる。

## アクティビティーの実際

- 準備するもの
  - ・ワークシート（権利の熱気球）記入用
  - ・権利の熱気球カード
  - ・グループ発表用拡大記入用シート（拡大投影機の活用も考えられる）
- アクティビティーの進め方

### 活動1 権利の熱気球 ～人権ランキング～

- ① 体験活動（権利の熱気球）の作業の手順を説明する。
- ② 体験活動（ランキング）に取り組みさせる。
  - ・個人（自分の考え）・所属グループ（比較・討議・意見の統合）
- ③ グループごとの発表による振り返り活動をする。
  - ・人権の大切さについて考えを深める。
  - ・他者の考えに対する理解を深める。
  - ・今後への活かしかたについて考える。

### 活動2 振り返り

- ① 発表活動を通しての「気づき」、さらに人権尊重精神の向上を図るよう振り返りをさせる。
- ＜振り返りの留意点と発問例＞
- このアクティビティーによって、権利についての自分の考え、相手の考えを比較しながら、人権の大切さについての考えをより深めさせるよう配慮する。なお、正解は無いことを伝える。

発問例

権利のランクづけをして、感じたことを発表しよう。

発問例

人権を守るために、努力していきたいことを考えよう。

## アクティビティーを指導するポイント

- ◇ 権利の熱気球カードの内容を十分確認（時間の確保）させ、よく考えてからランクづけの作業に入るよう指導する。
- ◇ 人権ランキングは、権利の序列が目的ではなく、人権感覚を高めることが最大のねらいであることを、指導者は理解したうえで指導にあたる。
- ◇ 振り返りを通して、生徒相互の人権についての意識の高まりを効果的に引き出せるよう、シートの掲示方法や発表の手順についても配慮する。

## Ⅱ 授業展開例

～中学校2学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	1 学習内容（手順）の確認	○3～4人程度の小グループをあらかじめ編成しておく。 ○人権学習の作業であることを理解させる。
	体験活動（権利の熱気球）：身の回りの権利を順位づけしてみよう。 <権利の大切さについて考えを深める>	
	2 自分（自分たち）が置かれている状況を知り、作業を始める。 ・権利のカードの内容を確認する。 ・権利のランキング（順位づけ）を行う。 ・どうしても残しておきたい権利に線を引く。  3 ふり返り ・各グループごとの発表をおこなう。 ・自分たちのグループの考えを明確に説明する。  4 活動を終えて気づいたこと、感じたことをまとめる。	○初めに個人で作業させる。 ・必要な権利と、捨ててよい権利とに区分した理由が明確に説明できるようにする。 ○グループごとに新たなワークシート（拡大版）を配布し、グループとしての意見をまとめさせる。 ・相互の意見が自分たちで調整できるように教師は支援する。   ○権利の序列づけが本来の目的ではなく、人権の意義と人間の尊厳の関係について感じ取ることができるようにする。

資料

(1) ワークシート

権利の熱気球



一番大切な権利

⑭	
⑬	
⑫	
⑪	
⑩	
⑨	
⑧	
⑦	
⑥	
⑤	
④	
③	
②	
①	

あなたは今、14個の荷物とともに地上高くに漂う気球に乗っています。

ところがどうしたことが、だんだん高度が下がってきました。助かるには荷物を捨てるほかありません。

14個の荷物とは実は「権利」というものでした。

- (1) 権利の熱気球カードの中から一番必要でない権利をひとつ選び①のところに記入しましょう。
  - (2) 続けて必要でない権利を選び、②→③と記入していきましょう。
  - (3) これ以上は捨てられない、捨てたら生きていけないというところに線をひいてみよう。
- ★グループになって話し合いながら、もう一度順番を決めてみましょう。

(2) 権利の熱気球カード

権利の熱気球カード

ア きれいな空気を吸う権利

イ 自由にできるお金をもつ  
権利

ウ みんなと異なっていると  
ころを認められる権利

エ いじめられたり、命令・服  
従されない権利

オ 毎日、十分な食べ物と水  
を得る権利

カ 遊べる（休養できる）時間  
をもつ権利

キ 好きな本を読む権利

ク 毎年、旅行をして休暇を楽  
しむ権利

ケ 正直な意見を言い、そ  
れを聞いてもらう権利

コ 周囲の人から親切にして  
もらえる権利

サ 自分のあやまちを許し  
てもらおう権利

シ お店で好きな商品を選べる  
権利

ス 愛し、愛される権利

セ 私だけの部屋をもつ権利

(3) ふり返りカード

● 権利の熱気球 ふり返り用紙

1 権利の順位づけの体験をしてみよう

① 自分たちのグループと、他のグループの考えのちがいについて感じたこと

② 権利について気づいたこと

2 権利の熱気球の学習をとおして、あなたは、今後どのようなことを大切にしていきたいと思いますか。